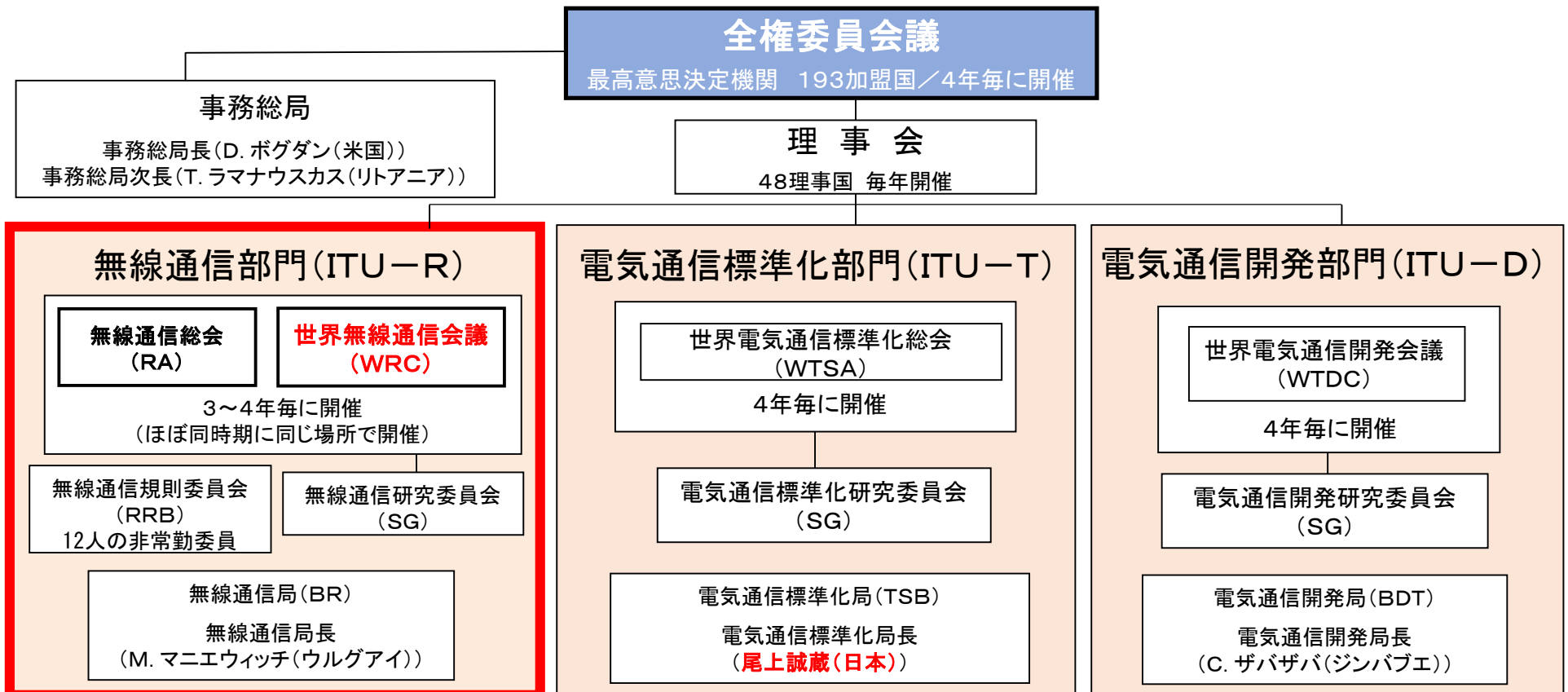


2023年世界無線通信会議(WRC-23) の結果について

令和6年1月30日
総合通信基盤局
国際周波数政策室

- 国際電気通信連合（ITU※1）は、国際連合の専門機関の一つであり、情報通信に関する国際ルールや標準等を策定する、世界最古の国際機関。
- 実務機関として、①無線通信分野の周波数分配や標準化を行う無線通信部門（ITU-R※2）、②電気通信分野の標準化を行う電気通信標準化部門（ITU-T※3）、③途上国に対する電気通信の開発支援を行う電気通信開発部門（ITU-D※4）の3部門が設置されており、ITU-Rにおける最大の会議である無線通信総会（RA※5）及び世界無線通信会議（WRC※6）が3～4年に一度開催される。

※1 International Telecommunication Union ※2 ITU Radiocommunication Sector ※3 ITU Telecommunication Standardization Sector
※4 ITU Telecommunication Development Sector ※5 Radiocommunication Assembly ※6 World Radiocommunication Conferences



- 無線通信部門（ITU-R）において、各周波数帯の利用方法（**周波数の国際分配**）、衛星周波数の国際調整手続、無線局の技術基準等、**無線通信に関する国際的な規則である、無線通信規則（RR※）**が定められている。
- 世界無線通信会議（WRC）は、**RRを改正するために行われる会議**であり、今期会合（WRC-23）は、2023年11月20日～12月15日の約1ヶ月にわたり開催され、**ITU（国際電気通信連合）加盟国163か国等から約3900名、日本からは総務省及び民間事業者等約130名が参加。**

※ Radio Regulations

RRによる周波数の国際的な分配

RR

Vol.4 (RRに引用されたITU-R勧告)

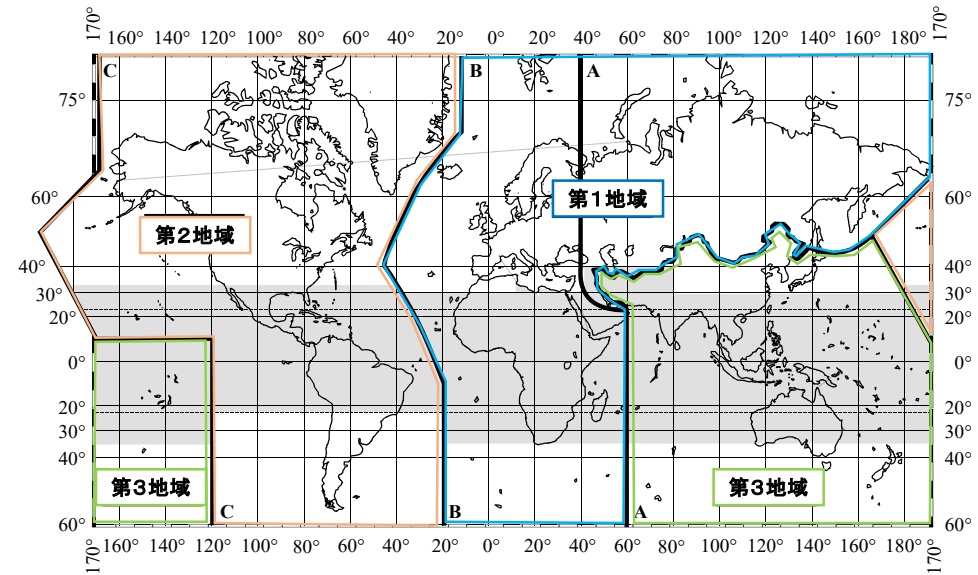
Vol.3 (決議・勧告)

Vol.2 (附属書)

Vol.1 (条文)

Radio Regulations

890-1 300 MHz		
Allocation to services		
Region 1	Region 2	Region 3
890-942 FIXED (固定通信) MOBILE except aeronautical mobile 5.317A (移動通信) BROADCASTING 5.322 (放送) Radiolocation	890-902 FIXED MOBILE except aeronautical mobile 5.317A Radiolocation 5.318 5.325 902-928 FIXED Amateur Mobile except aeronautical mobile 5.325A Radiolocation 5.150 5.325 5.326 928-942 FIXED MOBILE except aeronautical mobile 5.317A Radiolocation 5.325	890-942 FIXED MOBILE 5.317A BROADCASTING Radiolocation
5.323		5.327



RRにより、世界を3つの地域に分け、周波数帯ごとに業務の種別等を定めている。（日本は第3地域）

- 今回の世界無線通信会議（WRC-23）では、33の議題が取り扱われた。
- 我が国が提案する、HAPSや衛星ダイレクト通信等の非地上系ネットワーク（NTN）を含めたBeyond 5Gの実現に向けた議題において、周波数確保等に成功。
- また、我が国の既存システムを守るべき議題においても、必要な保護基準の策定等に成功。
- なお、WRCにてBeyond 5GやHAPS等の地上系議題を扱う第4委員会(COM4)議長に、新氏（NTTドコモ）が選出。

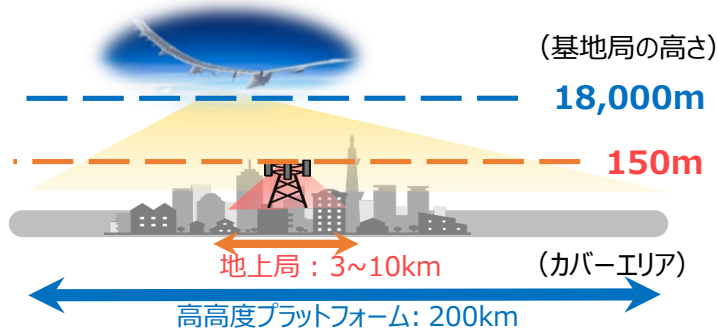
（1）NTN（非地上系ネットワーク）実現のための周波数確保

高高度プラットフォーム（HAPS）の検討

携帯電話基地局としての高高度プラットフォーム（HAPS※）で利用可能な周波数帯及びその基準を検討するもの。【日本提案】

※ High Altitude Platform Station

- 1.7GHz帯/2GHz帯/2.6GHz帯は全世界で、700MHz帯は、アジアの一部の国を除く全世界でHAPSへの分配が決定。

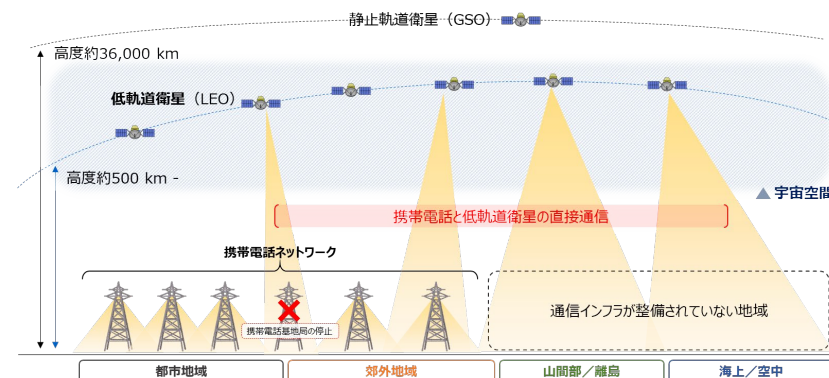


- 山間部や海上等を含め広大な国土をカバー。
- 大規模災害時の迅速な通信の復旧が可能。

衛星ダイレクト通信の検討

携帯電話と衛星の直接通信（衛星ダイレクト通信）を利用可能な周波数及びその基準を検討するもの。【日本提案】

- 我が国の提案を含む694/698MHz~2.7GHzの周波数帯を対象に、次期（WRC-27）の新議題とすることを合意。



（2）5G・Beyond 5Gに向けた新規周波数の確保

- 我が国も支持する、6GHz帯（欧州・中東・アフリカ等）、7GHz帯（欧州・中東・アフリカ・アジア等）を携帯電話用周波数として新たに分配が決定。

- 我が国の提案も含む、4.4-4.8GHz、7.125-8.4GHz及び14.8-15.35GHzを対象に、次期(WRC-27)新議題とすることで合意。

（３）日本国内における既存業務保護のための対応

➤ 我が国の既存業務に影響を与えうる議題については、適切に保護するための提案を我が国から行い、我が国の意見を反映することに成功した。

＜主なトピック及びその結果＞

検討トピック	影響が懸念される国内既存事業	結果
6GHz帯携帯電話用周波数（アジア地域）	放送事業用の中継回線等 衛星通信	我が国の地上業務に対して影響の大きい国への分配を除外することで合意
14.8-15.35GHz帯の宇宙研究業務	ヘリコプター映像伝送システム （公共業務用）	我が国の地上業務に対して影響の大きい通信（地球-宇宙間の通信）を2次業務扱いとすることで合意
非静止衛星から静止衛星への保護基準見直し（次期(WRC-27)新議題）	静止衛星システム	保護基準の見直しを行わない（将来の議題としない）ことで合意

（４）その他我が国関心議題

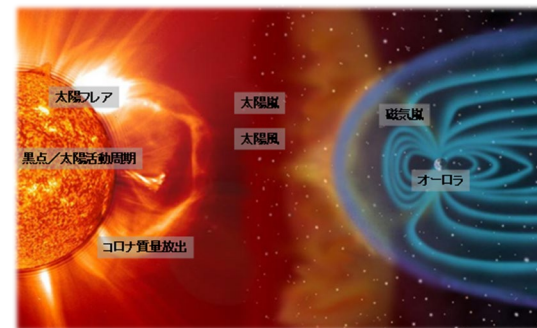
➤ 我が国が提案した4議題及び米国と推進した1議題について、将来の世界無線通信会議の新議題とすることに成功した。

次期(WRC-27)新議題

- 月面・月周回軌道での周波数確保
- 宇宙天気センサのための周波数確保

次々期(WRC-31)暫定議題

- WPT（無線電力伝送）の周波数確保
- テラヘルツ帯（275-325GHz）の周波数分配の拡大
- VHF帯等海上無線通信の高度化



➤ 宇宙天気（太陽活動に起因する地球近傍の宇宙環境条件の変化）

(参考1) WRC-23議題一覧

5

地上系 議題	議題1.1	4800-4990 MHzにおける国際空域及び公海における航空、海上業務無線局の保護の検討と脚注5.441Bのpfd要件の見直し
	議題1.2	3300-3400 MHz、3600-3800 MHz、6425-7025 MHz、7025-7125 MHz及び10.0-10.5 GHz帯における移動業務への一次分配を含むIMT特定の検討
	議題1.3	第一地域における3600-3800 MHzの移動業務への一次分配の検討
航空・ 海上系 議題	議題1.4	2.7GHz以下のIMT特定された周波数帯におけるIMT基地局としての高高度プラットフォームステーション(HIBS) 利用の検討
	議題1.5	第一地域における470-960 MHz帯の既存業務の周波数利用と周波数需要の見直しとこれに基づく規則条項の検討
	議題1.6	準軌道飛行体の無線通信のための規制条項の検討
衛星・ 科学系 議題	議題1.7	117.975-137 MHzにおける地球から宇宙及び宇宙から地球の双方向への航空移動衛星業務(AMS(R)S)への新規分配の検討
	議題1.8	無人航空システムの制御及び非ペイロード通信による固定衛星業務の利用のための決議155(WRC-15改)及びRR 5.484Bの見直しと適切な規則条項の検討
	議題1.9	航空移動業務に割り当てられたHF帯における民間航空の人命保護のためのデジタル技術の導入とアナログシステムとの共用のためのRR付録27の見直しと規制条項の検討
一般 議題	議題1.10	非人命保護用途の航空移動アプリケーションのための航空移動業務への新規分配のための研究の実施
	議題1.11	海上における遭難及び安全に関する世界的な制度(GMDSS)近代化及びe-navigation実施のための規則条項の検討
	議題1.12	45 MHz帯衛星搭載レーダーサウンダーのための地球探査衛星業務(能動)への新規二次分配のための検討の実施
	議題1.13	14.8-15.35 GHz帯に二次分配されている宇宙研究業務の一次分配への格上げの検討
	議題1.14	現代のリモートセンシング観測の要求に則った231.5-252 GHz帯における地球探査衛星業務(受動)に係る既存分配の見直しと新規分配の検討
	議題1.15	固定衛星業務の静止軌道衛星局と通信する航空機及び船舶上の地球局による12.75-13.25 GHz帯(地球から宇宙)の利用の調和
	議題1.16	非静止軌道における固定衛星業務の移動する地球局による17.7-18.6GHz、18.8-19.3 GHz及び19.7-20.2 GHz(↓)並びに27.5-29.1 GHz及び29.5-30 GHz(↑)の使用のための研究及び技術・運用・規則面の手段の検討
	議題1.17	特定帯域における衛星間リンクの規則に対する衛星間業務への分配追加による適切な規則条項の決定と実施
	議題1.18	狭帯域移動衛星システムの発展のための移動衛星業務の周波数需要及び新規分配の検討
	議題1.19	第二地域における17.3-17.7 GHz帯の宇宙から地球方向の固定衛星業務への新規一次分配の検討
	議題2	無線通信規則に参照による引用をされたITU-R勧告の参照の現行化
	議題4	決議・勧告の見直し
	議題7	衛星ネットワークに係る周波数割当のための事前公表手続、調整手続、通告手続及び登録手続の見直し
	議題8	脚注からの自国の国名削除
	議題9	無線通信局長の報告
	議題9.1	WRC-15以降のITU-R関連活動に関する無線通信局長報告を検討して承認すること
	課題a)	無線通信規則における宇宙天気センサの適切な認知及び保護に向けた研究の見直し
	課題b)	同一の周波数で運用されている無線航行衛星業務(宇宙から地球)の保護を確実にするための追加的手段の必要性の決定のための1240-1300 MHz帯のアマチュア業務及びアマチュア衛星業務の見直し
	課題c)	固定業務に一次分配された周波数帯での固定ワイヤレスブロードバンドのためのIMTシステムの利用の研究
	課題d)	36-37 GHzにおけるNGSO宇宙局からのEESS保護
	議題9.2	RR 適用上の矛盾及び困難に応じた措置に関する検討
	議題9.3	決議80(WRC-07改定)の規定に応じた措置に関する検討
	議題10	将来の世界無線通信会議の議題

※ 議題3、5、6については現状実質的な議論がないため省略。

(参考2) WRC-23会議構成

6

<全体会合(Plenary)>

議長: Mohammed Al Ramsi(UAE)

COM1
運営

COM2
委任状

COM3
予算統制

COM4
地上・航空・海上議題等
議長: 新博行(日・NTTドコモ)

COM5
衛星関連議題
議長: A. Marklund
(スウェーデン)

COM6
一般・将来議題
議長: E.H.Abdouramane
(カメルーン)

COM7
エディトリアル

WG4A (IMT)

議長: Mohamed Moghazi(エジプト)

議題1.1 (4800-4990MHz IMT)

課題1.2 (IMT特定)

課題1.4 (HIBS)、Doc.550 (RR21.5)

WG4B(海上、航空、アマチュア)

議長: Sandra Wright(米)

議題1.6 (サブオービタル)、議題1.7 (航空VHF)

議題1.8 (UAS)、議題1.9 (航空HF)、

議題1.10 (15/22GHz帯AM(OR)S)

議題1.11 (GMDSS近代化) 等

WG4C(陸上移動、固定)

議長: Usman Aliyu(ナイジェリア)

議題1.3 (3600-3800MHz移動業務)

議題1.5 (470-960MHz移動業務・放送業務)

議題9.1(c) (固定ワイヤレスBB) 等

WG5A(科学)

議長: Eric Allaix(仏)

議題1.12 (45MHz EESS(2次))

議題1.13 (15GHz帯SRS)

議題1.14 (231.5-252GHz EESS)、

議題9.1(a) (宇宙天気) 等

WG5B(衛星分配)

議長: Abdulrahman Al-Najdi(サウジ)

議題1.15 (13GHz GSO ESIM)

議題1.16 (Ku/Ka帯 NGSO ESIM)

議題1.17 (衛星間通信)、議題1.18 (MSS分配)

議題1.19 (17.3-17.7GHz FSS分配)

WG5C(衛星規則)

議長: Fenhong Cheng (中)

議題7 (衛星調整手続)

課題9.2 (RR適用上の矛盾)

議題9.3 (RRBからの報告)

WG6A(一般議題)

議長: Jonathan Williams(米)

議題2 (ITU-R勧告参照の現行化)

議題4 (決議・勧告見直し)

議題9.1 (BR報告)、

Res 655 (時系の定義・報時信号) 等

WG6B(将来議題)

議長: Geraldo Neto(ブラジル)

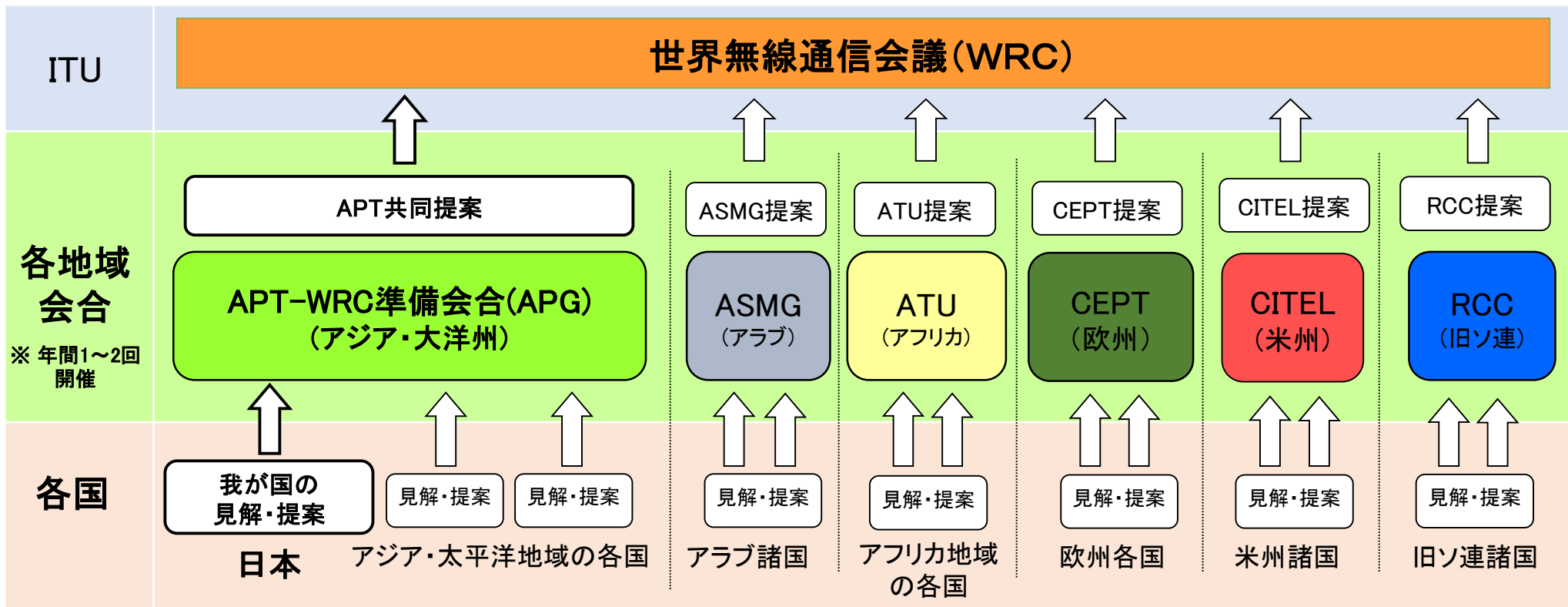
議題10 (将来のWRC議題)

※ 各WGの下に各議題に対応するDG(ドラフティンググループ)等が設置

(参考 3) WRCに向けた地域準備会合

7

- WRCに先立ち、各地域（アジア、アラブ、アフリカ、欧州、米州、旧ソ連）において、それぞれWRC準備会合を開催し、WRCの各課題に対する地域見解・共同提案を策定。
- アジア・太平洋地域では、WRC-23に向け、**APT-WRC準備会合(APG)**が2020～2023年にかけて計6回開催。
- 近年WRCにおいては、各国単独提案よりも地域共同提案が重視される傾向にあることから、APG会合において、APT共同提案に日本の意見をできるだけ反映させておくことが重要。



APT (Asia Pacific Telecommunity) : アジア・太平洋電気通信共同体
 ASMG (Arab Spectrum Management Group) : アラブ周波数管理グループ
 ATU (African Telecommunications Union) : アフリカ電気通信連合

CEPT (Conference of European Postal and Telecommunications Administration) : 欧州郵便・電気通信主管庁会議
 CITEL (The Inter-American Telecommunication Commission) : 米大陸諸国間電気通信委員会
 RCC (Regional Commonwealth in the field of Communications) : (旧ソビエト連邦構成国による) 合同通信地域連邦